

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



私は今まで、ニュースでこのような事件がおきていることを知っても「かわいそう」「痛かったらうな」と、少ししか感想がでてきませんでした。それは、自分には関係がないことだと思っていたからです。「この町は安全だから」「自分は車を運転しないから」「いつも気をつけて歩いているから」のように、自分で理由をつけていました。でも、今回の学習で、事故はいつ、だれにでもおこってしまうということ、自分と同じくらいの年の人が事故でなくなっているということ、その家族はとてとても辛い思いをしているということがわかりました。私にとっての小学7年生からの6年間はすごく大きな物でした。これを経験できなかった涼香ちゃんのことを考えると、本当に胸が痛みます。私も、これからの時間・命を大切に生きていきたいと思います。

私は今日、たくさんのことを学ばせていただきました。本当にありがとうございました。

学校名

十文字中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

押切爽羽

より

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



ほくは大崎礼子さんのお話を聞き、自分は、あと
もう少しで、大人になるので、大人になって悲
しい事故を起こさないためにも、今日のお話を、
せったいに忘れないようにしたりです。ほくは
大切な人が、いなくなってしまうことを考える
だけで、悲しくなります。なので、このような
悲しみを感じる人たちは、せったい一人でも、
減らさなさいいけないし、せったい、飲酒運転
や居ねわり運転で、悲しむ人が出るというこ
とはあってはいけないことだと思ひます。

そして、今、回りをみると友達がいること
や、家に帰ると、あたたかい家族がいる
ことがとても幸せなことなのだと思ひまし
た。ほくは、この幸せをこわされたくないし、
他の人の幸せをうはったりなどしたくないです。
なので、これ以上悲しいんだり苦しんだりする人が
いなくなるよう、自分から、いるんなことを気を付けて
いきたいです。

学校名

十文字中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

近 悠世

より

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



今日は、命の大切さ学習教室のためにわざわざ遠いところまで来て下さり、ありがとうございました。
私だったら、辛いことを大勢の前で話すのはきっとできないので、大崎礼子さんはとてもすごいいいと思いました。
とても聞きやすく、思いが伝わってきました。この教室に参加した日は実は私のたん生日で、毎年必ずむかえるのが当たり前だと思っていました。けれど、次の日があること、成長できること、その「当たり前」がどれだけ幸せなことなのか実感することができました。
いつ、誰が被害者になるのか誰も分からないので、日ごろから大切な人に感謝の気持ちや思っていることを後悔の無いように伝えておきたいです。逆に、自分がいつか被害者になるかも分からないので、ルールを守り、周りをよく見て過ごすことも心がけようと思います。
今日は本当にありがとうございました。

学校名

十文字中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

佐野 はずき

より

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



今回の命の大切さ学習教室で、人の命はいつ奪われるかわからないということを改めて実感しました。今、こうして家族と友達と一緒にいられることは奇跡なのかもしれないと思いました。礼子さんのお話を聞いていて礼子さんと涼香ちゃんの兄弟の方たちほとても涼香ちゃんのことを愛していて、いい家族だと思いました。それから、悲しみや苦しさをけでなく、悔しさもたくさんあるのだと気付きました。長男さんの「僕があの時、おけなければ」という後悔ほとても苦しいと思いました。明日が絶対に来るとは限らないし、明日も家族みんなでお過せるとは限らないので、今日をちゃんと生きて、家族との時間を大切にしたいです。礼子さんのお話を聞いて、新しく知ったことや、改めて感じたことをたくさんありました。この学習教室で教えてくださったことを忘れずになりたいです。私は、毎日を大切に生きて、この人生を後悔のないものにすると言います。

学校名

十文字中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

小松 千春

より

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



大崎さんの話を聞き僕は、とても心がいたみました。
まず第一は、交通ルールを守るというあたりまえのことを
抜けないようにすることが大事だと考えました。この
事故のように、「少しだけ」「ちょっとだけ」が人の命を奪うほ
どの大事故につながりかねないと思いました。そして、
ルールを守るのは車だけでなく登下校で使用する
自転車も同じ。自転車も少しのミスで事故につながると
いうことです。僕たちもこれからもっとルールを正確に守って
いく必要があります。もう一つ感じたことは、この
何気ない日常をすごしていることが一番の幸せになるのだ
ということです。この生活の中でどんなにつらいことがあっても
生きていればいろんなことにチャレンジできて笑ったり
泣いたりできるんだなと思いました。僕は、家族や仲間
といっしょにすごせるこの生活を守っていくためにも
自分の命を大切にすることは、もちろんのこと他の人たちに
優しくしてあげるなどの思いがりの行動を大事にしてい
きたいと思いました。

学校名

十文字中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

佐藤 奏真

より

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成 12 年 11 月 28 日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



命の大切さ学習教室に参加して、自分自身が感じたり考えたりできているというのはとても幸せな事だと思いました。自分の大事な人たちが事故や事件で亡くなってしまふなんて想像もできません。これからの日常生活では、自分が生きている喜びや幸せ、自分が大事だと思える人達が身近にいる幸せを噛みしめて一秒一秒を大切に過ごしていきたいと思います。また、運転免許をもって自動車を運転する人が加害者や被害者にならないようにするために自分に何かできることは無いか考えて行動していきます、逆に自動車に乗らない歩行者などができることはしていきたいと思います。これから加害者や被害者(被害者遺族)が一人でも減ってほしいし、自分が加害者にならないように基本的、根本的な交通ルールをしっかりと守っていきたくです。自分に与えられた時間は短いかもしれない長いかもしれないです。でも、今自分に与えられた時間が充実した人生だったなと思えるようにしたいと思ひます。

学校名

十文字中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

高橋 眞斗

より

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成 12 年 11 月 28 日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



大崎さんの話を聞き、お世人のことを知り、命について考えることができました。
大崎さんが「何回か言っていた「後悔」という言葉が、私は印象的でした。「自分がどう
しようか分からない」と聞いて、命がうしろめたいと、一番長くつらい思いをわけてくれ
るのは遺族の方だ」と思いました。被害者が「しなせなせ」とか言う思いはわけてあげても
いいのに。わたしの人間のよくない行動で、お世の人たちが一生、つらい思い、後悔、
悲しみをせめて生きていかねばならないのだ」と思いました。
私たちが今、過している「あたりまえの日常」というものが、いかに幸せか、それがわかると
は、それがわかるとつらいのかも分かります。その「あたりまえの日常」がわかるときの
気持ちも、もうそれはもう経験させてはならないと思っています。私は誰かのあたりまえ
をわけてほしい、誰かにあたりまえをわけてあげたいです。みんなもそうかと思っ
た。どうやらわたしは、自分自身の命は自分で守り、友達に代わってあげようという
話を聞いてあげたいです。
今回、命の重さや命を守ることの大切さについて改めてしっかりと考えることができ、新し
いことを学ぶことができています。これから、今回の話を、自分自身で思ったこと、考えたこと
をわけていって生活していきたいです。また、今回の「あたりまえの日常」をわけて、友達や家族を
今まで以上に大切にしていきたいです。もう、これ以上悲しい人たちが少なくなるとほ
しいと思っています。

学校名

横浜市立十文字小学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

岩村咲希

より

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



私は大崎さんから涼香ちゃんのお話を聞いて、とても苦しく、
辛い思いに陥りました。でも大崎さんや、涼香ちゃんのお兄さん、ご家族の
遺族の皆様は、今日私たちが感じた辛さよりもっと深い傷を背負って
生きていらっしゃると思うと胸が痛くなりました。私も、今日改めて命の
重み、大切さを感じる事ができました。友達や家族と笑ったり、けんか
したり、泣いたり、喜んだりする事は当たり前で、貴重ではない
日々を送る事は、何となくを考へる事ができました。辛いとき、苦しいときに
逃げ出したかったり、生きるのがしんどいと感じるときがあるけれど、簡単にそう
思わず、自分は、いかに幸せか、残された家族や友達は一生涯
辛い思いをして生きていく事、毎日生きている事に感謝して
もっと自分の心が体、命を大切にしようと思えました。涼香ちゃんから
生きるべきだった時間は、ご遺族の皆様、私たちが精いっぱい
生きて、涼香ちゃんのお母さんとして笑って生きていきたいと思います。
私も、交通事故、いじめなどの被害者、加害者の関係が成立して
しまったりするのは絶対にあってはならないと思うし、もっと少なくてほしい
ってほしいと思います。涼香ちゃんも天国でも笑顔が溢れるように。

学校名

横手市立十文字中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

遠藤 水海

より